

交通事故から身を守るために、時間に余裕をもって行動しよう

遅刻しそうになった時、「急がば回れ」を実践できる児童はどのくらいいるでしょうか。

先日免許更新に行った際、更新講習で「急ぎの心理」について学びました。急いだり、焦ったりすることが危険行動につながるということです。これは、車を運転する側だけでなく、歩行者側にも通ずることだと感じました。例えば、朝寝坊をして家を出る時間がいつもより遅くなると、急がなきゃという思いから、点滅信号を渡ったり、歩道橋を渡らずに道路を横断したり、といった行動が生じやすくなります。また子供は自分の行動がどういった危険につながるか予測できないことも多いです。

信号の渡り方、歩道の歩き方などの交通ルールはもちろん大切ですが、それ以前に時間に余裕をもって行動する習慣が危険から身を守ることに繋がります。次の日の準備をしてから寝る、早寝早起きを心掛けるなど、御家庭でも御指導の程、よろしくお願いいたします。

9月21日～9月30日は秋の交通安全週間でした。登校時間に合わせてPTAや地域の方々が子供たちの安全を見守ってくださいました。ありがとうございました。
(生活指導部 村上 咲)

学びの機会

振り返ると、4月から9月まで、ほぼ緊急事態宣言の中で教育活動を行っていることに気付きます。学校としても、また、保護者の皆様にとっても経験のない日々を過ごしてきました。そのような中、5月には運動会、6月には学校公開を行うことができました。9月には3、4年生は遠足に出かけることができ、これには多くの保護者ボランティアの皆様の御協力をいただき、実施することができました。ありがとうございました。

さて、緊急事態宣言が解除になると、どの学年も延期や検討していた行事をどのように行えば実施できるかを考え、計画していきます。それでも授業日数を変えることはできませんので、限られた日数の中で実施していかなければなりません。同日に複数の学年の行事が重ならないように調整し、教室や教科書では学べないことを子供たちが経験できるようにしていきたいと思います。11月に予定している学習発表会についても、現在、保護者の皆様の鑑賞方法を検討しているところです。詳細のお伝えまで今しばらくお待ちいただきますよう、お願いいたします。
(教務主任 岩田 寛子)

特別支援教室の通級及び学習支援員の配置（令和4年度1学期）の申込みについて

平成28年度から、発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通級指導を行う特別支援教室「芝っ子ルーム」を開室しております。

また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補う個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は10月15日（金）までに、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に御相談ください。

尚、来年度以降も継続して特別支援教室の利用や学習支援員の配置を希望される保護者の方につきましても、10月15日（金）までに、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に連絡してください。

(特別支援コーディネーター 佐藤 智子)